

Human

あたたかい医療をみんなの手でー

“きみつだより”

NO.84 平成29年7月24日発行
編集責任者 大崎 慎一
編集者 “HUMAN”編集委員会

玄々堂 君津病院 〒299-1144 君津市東坂田4-7-20 ☎0439-52-2366(代) URL http://www.gengendo.jp/

玄々堂じんクリニック院長あいさつ



院長 大崎 慎一

このたび私が玄々堂じんクリニックの院長を務めさせていただきますことになりました。玄々堂君津病院副院長職と兼任となりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



平成29年5月8日玄々堂じんクリニックがオープンした。4月15日に竣工を迎えたサウス付き高齢者向け住宅「ウェル・ウイレッジ君津」地上3階建て。内の1階部分に併設された玄々堂じんクリニックは、人工透析内科とリハビリテーション科を診療科とした入院ベッドを有しないクリニックとなっている。介護を必要とする透析患者さま並びにご家族の負担軽減と利便性を高めると共に、双方の連携を密にすることで、力強いサポートが可能となった。



透析室はベッド数21床で、現在は月水金2クール体制で、「ウェル・ウイレッジ君津」に入居されている患者さまや自宅から通院されている患者さまの透析治療を行っている。リハビリ室では、介護保険を使用した通所リハビリテーションを行っている。これまで玄々堂君津病院で目指すのは、患者さまの生活に寄り添った医療です。週に3回の治療を要する血液透析も、元氣と体力を高めるためのリハビリも、生活の一部として取り入れられる環境を目指し、在宅へ移行しやすくなるように、高齢の方が安心して生活できる「家」であるウェル・ウイレッジ君津と共有的な空間デザイン、患者さまのみならず、そこで働く職員も優しい気持ちにさせてくれることと思

のりハビリティ室を使用している。リハビリテーションであったため、短時間の利用しか行えなかったが、玄々堂じんクリニックへ移行したことで、リハビリ・入浴介助サービスや昼食提供サービス等、長時間の利用が可能となった。リハビリを行いたいが、定期的な通院が困難な方のため、送迎サービスがある通所リハビリテーションのニーズは今後も高まっていくものと思われる。急性期や回復期の治療を終えた患者さまが、その後リハビリを続けられるようにサビティの充足を図っていくことである。高齢化社会を本格的に迎

え、住み慣れた地域で、より選択肢が豊富な複合施設として機能して行くにあたり、今後新たに透析導入する患者さまはもとより、近隣地区からの紹介患者さまを含め、厚くきめ細かい医療サービスを提供していく予定である。入社式は池田院長の挨拶の後、新入職員を代表して看護部の栗原美咲さんが誓いの言葉を述べた。入社式に続いてオリエンテーションが行われ、当院の概要や理念、就業規則の説明、先輩職員の話や聞いた後、防災や感染対策について講義を受けた。2日目は救命救急法・応急処置訓練の後、安全対策、個人情報保護法について講義を受け、3日目はビジネスマナーの講義や電話対応について学んだ。医事課の山口萌々さんは接遇のポイントについて実践を交え学んだことで、心にゆとりを持って対応出来るようになったと話していた(関連記事4面)

看護の日(まごの健康)

5月13日(土)イオンモール富津において、「まごの健康室」が開催され、当院より2名の看護師が参加した。5月12日の看護の日になみき葉県看護協会君津地区部会が毎年開催しているイベントで、看護週間にあ

第120回糖尿病教室

日時 平成29年7月22日(土)
場所 新館大会議室
内容 「気を付けよう!夏の生活」(次回10月 開催予定)

健康教室開催のお知らせ

詳細は病院内に提示してあるポスターにも記載してあります。

糖病教室開催

4月22日(土)新館大会議室において、第19回糖尿病教室が開催された。

永年勤続者表彰

4月21日(金)ハミルトンホテル上総において永年勤続者表彰が行われた。今年度は30年勤続1名、20年勤続5名、10年勤続14名に池田院長より表彰状と目録が贈られた(関連記事4面)

玄々堂じんクリニック オープンイベント

のりハビリティ室を使用している。リハビリテーションであったため、短時間の利用しか行えなかったが、玄々堂じんクリニックへ移行したことで、リハビリ・入浴介助サービスや昼食提供サービス等、長時間の利用が可能となった。リハビリを行いたいが、定期的な通院が困難な方のため、送迎サービスがある通所リハビリテーションのニーズは今後も高まっていくものと思われる。急性期や回復期の治療を終えた患者さまが、その後リハビリを続けられるようにサビティの充足を図っていくことである。高齢化社会を本格的に迎

え、住み慣れた地域で、より選択肢が豊富な複合施設として機能して行くにあたり、今後新たに透析導入する患者さまはもとより、近隣地区からの紹介患者さまを含め、厚くきめ細かい医療サービスを提供していく予定である。入社式は池田院長の挨拶の後、新入職員を代表して看護部の栗原美咲さんが誓いの言葉を述べた。入社式に続いてオリエンテーションが行われ、当院の概要や理念、就業規則の説明、先輩職員の話や聞いた後、防災や感染対策について講義を受けた。2日目は救命救急法・応急処置訓練の後、安全対策、個人情報保護法について講義を受け、3日目はビジネスマナーの講義や電話対応について学んだ。医事課の山口萌々さんは接遇のポイントについて実践を交え学んだことで、心にゆとりを持って対応出来るようになったと話していた(関連記事4面)

たこの日は、君津・木更津・富津・袖ヶ浦地域の医療機関に所属する保健師、看護師が健康相談や栄養相談を行った他、骨密度測定、ストレス度チェック等を行った。あいにくの雨模様となったが、約130名の参加があり、高齢者若年層まで幅広い年齢層の地域住民との交流を通し、健康意識の向上に努めた。

医師をはじめ糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師・薬剤師が講義を担った。はじめに、中尾看護師が「糖尿病とは」を話し、続いて草野薬剤師が「血糖値を下げる薬の最近の傾向」や「安全な糖尿病の治療」を話し、森理理学療法士が「運動療法と血液データの管理」を話し、萩野管理栄養士が「糖質制限・低糖質について」を話し、最後に萩野副院長が「糖尿病とは」というテーマで講義を行った。

参加者全員熱心に聞き入り、充実した時間となった。

平成29年度入社式

今年度も多くの職員が入職しました。

栗原 美咲(看護師)	高橋 典子(看護師)	吉田 友彦(臨床工学技士)	笹生 春樹(作業療法士)	永井 沙季(看護助手)
柳田 綾子(看護師)	成重 瑞希(看護師)	菊地香奈子(臨床工学技士)	山口 君枝(クラーク)	井上 美波(看護助手)
濱崎 佳苗(看護師)	新藤 里奈(看護師)	武藤 潤一(臨床工学技士)	沼里 章子(介護福祉士)	片岡 麻緒(事務員)
宇都宮かれん(看護師)	古明地聡子(看護師)	田村 拓也(臨床工学技士)	高田由紀子(介護福祉士)	山口 萌々(事務員)
富高 由華(看護師)	川原 朝絵(准看護師)	小沼 祐子(診療放射線技師)	菅原多津子(介護福祉士)	山浦 伶奈(保育士)
馬場 萌李(看護師)	中澤 宏実(薬剤師)	森田友佳里(臨床検査技師)	中原加代子(介護福祉士)	立石 昇(運転手)
岡村麻衣子(看護師)	日暮光太郎(臨床工学技士)	菊地 勇貴(臨床検査技師)	佐藤 裕美(介護福祉士)	鈴木 直也(運転手)
横山明日香(看護師)	山田 遥香(臨床工学技士)	坂本 健太(理学療法士)	吉武 希(看護助手)	



平成29年度永年勤続者表彰 4月21日(金) 於 ハミルトンホテル上総

30年表彰	20年表彰	10年表彰
 曾我百合香(看護師)	 相澤由美子(看護師) 早坂正義(臨床工学技士) 齊藤 晃(臨床工学技士) 立石好行(臨床工学技士) 石寄照彦(事務員)	 永田光子(看護師) 扇田郁美(臨床検査技師) 荒木広子(看護師) 山口裕伸(臨床工学技士) 櫻庭兼一(看護師) 三浦英貴(臨床工学技士) 砂川美穂(看護師) 相馬輝美(看護助手) 佐久間明美(看護師) 桑田芳毅(事務員) 加藤裕子(看護師) 伊澤 司(事務員) 山下なつ恵(看護師) 佐生代子(事務員)

ボランティア通信

7月1日(土)外来待合室において七夕コンサートを開催しました。池田院長の挨拶の後、劇団BJの皆さんが懐かしい曲の演奏や、フラメンコ、日本舞踊を披露してくれました。続いて3日病棟スタッフが365日の紙飛行機、東京音頭の曲に合わせて踊り、遊びに来てくれたきみびよんも一緒に踊ってくれました。最後はげんげんどうかがやき保育所の子供たちが元気いっぱい歌とダンスを披露、会場の皆さんと一緒に盛り上げてくれました。

七夕コンサート

7月1日(土)外来待合室において七夕コンサートを開催しました。池田院長の挨拶の後、劇団BJの皆さんが懐かしい曲の演奏や、フラメンコ、日本舞踊を披露してくれました。続いて3日病棟スタッフが365日の紙飛行機、東京音頭の曲に合わせて踊り、遊びに来てくれたきみびよんも一緒に踊ってくれました。最後はげんげんどうかがやき保育所の子供たちが元気いっぱい歌とダンスを披露、会場の皆さんと一緒に盛り上げてくれました。

肺炎球菌予防接種について

肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し、重症化を防ぐワクチンです。市町村が実施する定期接種では、今まで肺炎球菌ワクチンを接種したことがない方を対象に、平成30年度までの間に1人1回、公費の助成が受けられる定期接種の機会を設けています。また、対象期間内に接種しなかった場合や、対象外の方は任意接種となり、希望者は医療機関にて全額負担で接種することができます。

【平成29年度定期接種について】
●対象者：平成29年度に以下の年齢になる方で、今まで接種したことがない方。
65歳：昭和27年4月2日生～昭和28年4月1日生の方
70歳：昭和22年4月2日生～昭和23年4月1日生の方
75歳：昭和17年4月2日生～昭和18年4月1日生の方
80歳：昭和12年4月2日生～昭和13年4月1日生の方
85歳：昭和7年4月2日生～昭和8年4月1日生の方
90歳：昭和2年4月2日生～昭和3年4月1日生の方
95歳：大正11年4月2日生～大正12年4月1日生の方
100歳：大正6年4月2日生～大正7年4月1日生の方
※60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方も対象。
●対象期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日まで

●自己負担金額：住所を有する市町村によって異なります。君津市、木更津市、富津市
袖ヶ浦市 …………… 5,400円
2,500円
※生活保護世帯の方、被災者等は、自己負担免除となる場合があります。市町村にお問い合わせください。
○対象年度においてのみ、定期接種としての公費助成が受けられます。公費助成の有無や内容は、お住まいの市町村によって異なる場合があります。
【任意での接種について】
●当院で接種した際の自己負担金額 …………… 8,000円
当院での接種は、事前に予約が必要となります。
予約センター 0439-52-7068

特定健診について

平成29年度の特定健診・後期高齢者健診は予約制となっております。事前に予約を取ってから来院をお願いします。
予約受付番号 0439-52-2366 受付時間 9:00~16:00
結果をお伝えする日も予約制となります。検査を受けた際に、結果を聞きに来ていただく日を健診担当者からご案内いたしますので都合の良い日をお知らせください。
健康診査実施内容一覧

【平成29年度	国民健康保険特定健康診査	後期高齢者医療制度の健康診査
対象者(年齢)	40歳から74歳の国保加入者	75歳以上
実施期間	木更津市 6/1~10/31 袖ヶ浦市 6/1~8/31 君津市 5/15~8/31 富津市 5/10~8/31	6/1~10/31 2/1~2/28 6/1~9/30 2/1~2/28 5/15~8/31 10月 2月 9/4~12/4 2/1~2/28

編集後記
あつという間に暑い・暑い・暑い!チョコが溶けちゃう季節です。けど私は負けない。食べ続けるぞ!!
今回はほとんど聞かずに申し訳ありません。次回は頑張ります。(わあい)
ダイエツト引き続き頑張らない。(わあい)
今年ほどここまでドライブにいいところありません。(T.Y.M.)
色々な事が未体験で良い経験をしました。(アミノ酸)
暑い時期が終わると寂しくなりますね。(六角さん)
新しい趣味続けます。(てつ)
窮すれど通せず(笑)。(よし田)
今年も虫の飛び交う季節になりました。(ほち)
フレッシュハーブでハーブティ。ほっと飲めます。(青林糖)
もう夏です。青い空にビーチサンダル、白い砂浜に青い海、夕日に光る長い髪。そして…あなたの妄想に乾杯!!(丸日)



腎センター 便利

透析統括顧問 三浦 國男

在宅血液透析について

在宅血液透析の背景

在宅血液透析は、患者さまが医療施設において十分な教育訓練を受けた上で、患者さまが自ら透析装置を操作し家庭で行う透析です。今回はこの「在宅血液透析」についてお話しします。

この家庭で行う透析は、実は歴史が古く、日本では昭和43年から

透析に合わせた生活から

- 【施設血液透析】**
- ・透析後が疲れる
 - ・合併症が多い
 - ・血圧が高い
 - ・薬が多い
 - ・食事制限がきついです

生活に合わせた透析へ!

- 【在宅血液透析】**
- ・体調が良くなる
 - ・仕事も!趣味も楽しめる
 - ・しっかり食べてしっかり透析
 - ・薬が減る
 - ・合併症が少なく長生きできる

HDP(透析治療の効果)とは?

HDP=(1週間の透析回数)×1回の透析時間

- ①頻度 > ②時間 > ③効率となる
- ①週3回よりも4回、5回が良い
 - ②4時間よりも5時間、6時間が良い
 - ③優れたタイライザー、または血流量が多いほうが良い

施設血液透析の場合(週3回4時間)

3²×4=36

施設血液透析の場合(週3回8時間)

3²×8=72

在宅血液透析の場合(週5回3時間)

5²×3=75

健康者の場合... 7²×24=1176

- ・患者が健康と感じられるHDP値は70以上とされている。
- ・週3回、4時間透析は健康者の3%にすぎない。

(図2)

(図1)

在宅血液透析の現状

教育訓練を経て、いよいよ家庭での透析が始まります。透析機器については、無償貸与で費用は発生しません。繰り返しになりますが、在宅血液透析を行う最も重要な目的は、十分な量の透析を行う事です。したがって可能な限り長時間または頻回に透析を行うことが求

名古屋で始められています。私は若い頃(昭和55年)名古屋の実施設を訪問し、患者さまの教育訓練を見学した事がありますが、当時は現在のように血液透析技術が確立されていない時代であったので、一人で準備し透析を行う様子を見て少なからず衝撃を受けました。

初めは近隣に透析施設がなく、通院が困難であるという社会的事情から、しかたなく開始された在宅血液透析ですが、現在ではその事よりも、透析回数に制限がなく頻回または長時間透析が可能であ

在宅血液透析の治療効果

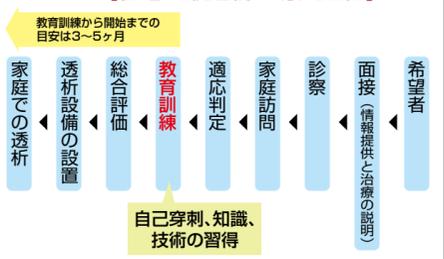
血液透析の治療効果を表す指標はいくつかありますが、もっとも簡便に表す式で「モダインシスプロダクト(HDP)」という指標があります。これは透析時間と透析回数から求めます(図1)。

HDP=「1回の透析時間」×「週当たりの透析回数」×「週当たりの透析回数」となり、在宅血液透析

在宅血液透析の教育訓練

今までの説明から、非常に良い治療法であることとは理解されたと思えますが、在宅血液透析を行うにはいくつかの条件があります。具体的には、室内の改装工事や水道光熱費、透析物品の保管場所の確保などですが、これに加えて何よりも教育訓練を受けなければなりません。教育訓練の条件としては、本人の強い希望があること、介助者がいること、現在、安定した透析が行われていること、教育訓練の内容を習得する能力があることです。当院の場合、教育訓練から家庭で開始するまで3~5ヶ月を目安に行っています。患者さまの都合や能力に合わせて熟慮さえあれば1年かけても訓練します。在宅血液透析導入までの過程を(図3)に示しました。この中で自己穿刺は、重点項目であり、この習得には最初は練習キットを使用し反復訓練しながら時間をかけ行います。今までの訓練するなかで、皆最初は抵抗を感じていましたが、繰り返し行ううちに慣れてきて上手に刺せるようになりました。

【在宅血液透析の導入過程】



(図3)

おわりに

以上、在宅血液透析について説明しましたが、これを行うには、介助者がいることや準備には、穿孔、片づけに物品整理、トラブル時の対応などすべて自分で行わなければならない事々々。このように煩雑な作業を行わなければならないことも付け加えます。

す。決して楽に行える治療法ではありませんがそれ以上に得られるものが大きいことは確かです。在宅血液透析の透析全体に占める割合は1%以下でありましたが現状ですが、間違いなく身体に優しく治療効果が高いことは実証されています。少しでも興味があるようでしたらどうぞスタッフに気軽に相談してください。

第19回 病院研究発表会

6月29日(木) 新館大会議室において 第19回病院研究発表会が開催されました。

指定講演: 座長 診療部 大崎慎一 特別養護老人ホーム「玄々堂亀田の郷」について 診療部 池田重雄

一般講演: 座長 診療技術部 須藤貴大 / 事務部 木村祐輔

- | | |
|--|-------------|
| 1. ポクセルサイズ及び再構成関数が画像に与える影響について | 放射線科 藤原 敏晴 |
| 2. 当院のフットケアチームにおける臨床検査師の役割について | 臨床検査科 梅澤 理枝 |
| 3. 皮膚滲漏圧 (SPP) を用いたバスキュラーアクセス (VA) 評価法の検討 | 臨床工学科 川上 崇志 |
| 4. 医療用 RO 装置、水質について | 臨床工学科 三浦 英貴 |
| 5. Excel の活用 | 総務課 杉村 太一 |
| 6. 外来糖尿病チームとしてのクラークの役割 | 看護部 佐久間恵子 |
| 7. 高齢者に対する手術前オリエンテーションの見直し ~手術オリエンテーションパンフレットの評価と課題~ | 看護部 清水さゆり |

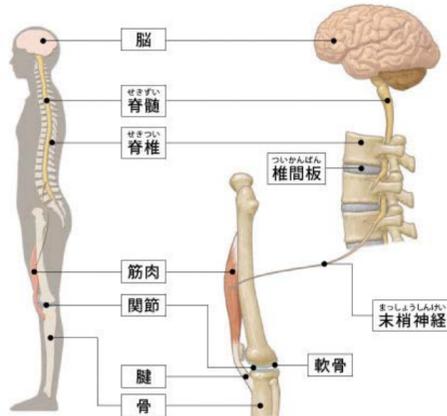
整形外科

運動器と健康寿命

整形外科部長 助崎 文雄



整形外科は運動器の疾患を扱う診療科です。運動器とは、身体運動に関わる骨、筋肉、関節、神経などの総称です。身体の中になる骨・関節などの骨格系とそれを取り囲む筋肉やそれを支配する神経系からなり、それぞれが連携して働いており、どれかひとつが悪くても身体はうまく動きません。整形外科は「運動器」の機能的改善を重要視して治療というからだと、背骨と骨盤と、四肢を主な治療対象としています。



現在、整形外科領域には、背骨と脊髄を扱う「脊椎外科」、上肢を扱う「手の外科」と「肩関節外科」、下肢の「股関節外科」と「足の外科」スポーツによるけがや障害を扱う「スポーツ医学」「リウマチ外科」腫瘍(できもの)を扱う「骨・軟部腫瘍外科」、骨粗鬆症などを扱う「骨代謝外来」と多数の専門分野があります。スポーツ障害や交通外傷、労働災害などに代表される外傷学、捻挫、骨折などの外傷学は勿論のこと、変形性変化

を伴う加齢疾患、骨粗鬆症、関節リウマチ、痛風、運動器の腫瘍、運動器の先天異常など先天性疾患など、新生児から老年まで幅広い患者層を扱います。我々整形外科医は約7年間の一般整形外科研修/専修を行い、整形外科専門医を習得後、それぞれにスペシャリティーを構築していきます。

日本は世界にさきがけて高齢社会を迎え、平均寿命は約80歳に近づいてきています。これに伴い運動器の障害も増加しています。歩行・移動能力の低下のために転倒しやすい、あるいは閉じこもりとなり、日常生活での障害を伴う疾患を運動器不安定症 (Musculoskeletal Ambulation Disability Symptom Complex: MADS) と称され、看過できない問題となっており、重症化を防ぐために運動器リハビリテーションなどの介入が大切です。入院して治療が必要となる運動器障害は50歳以降に多発しています。このことは多くの人々が、運動器を健康に保つことが難しいことを示しています。多くの人々が、運動器をこれ

足をよく見る

~糖尿病性足病変について~

リハビリテーション科 理学療法士 森 陽介

糖尿病性足病変とは「足のびらん・水泡・潰瘍・感染症・壞疽・変形」と定義されています。中でも日常頻繁に遭遇するのが胼胝(たご)・鶏眼・潰瘍の3つであると思います。特に糖尿病患者さまは病気の進行により、末梢神経障害による足裏の感覚鈍麻や網膜症による目の見えづらさにより、気付かないうちに胼胝の増悪や傷が治らず潰瘍に発展し、場合によっては足趾(足の指)の切断を余儀なくされることもあります。



足を守る第一歩は「よく見る」ことです。毎日入浴前や着替える時に足の裏をよく見る習慣を付けることがとても大切です。目の悪い方や一人暮らしの方はご家族やヘルパーさんに見てもらい、異常があれば速やかに受診することをお勧めします。

また、足病変を起こす原因の一つとして、足に合わない履物の着用により、先端や足底の摩擦・圧迫が起こることが挙げられます。「良い靴」とは軽い・着脱がしやすい・柔らかい靴ではなく、踵がしっかりと固定できるものが良いとされています。サイズは踵をしっかりと合わせた状態で指先に0.5cm~1cm程度余裕ができるものを選ぶと、足はしっかりと固定されて趾は自由に動く理想的なサイズとなります。

今回は糖尿病性足病変とその原因、予防方法についてお話ししました。今後はより具体的な「足を守る」方法をお伝えしていきます。

紙やマジックで甲周りを調整できる



着任医師紹介

【助崎 文雄先生】

- ①出身 千葉県茂原市 (長生高校 OB です)
- ②診療科目 整形外科
- ③血液型 AB 型
- ④趣味・特技 草野球 (かろうじて現役です) ゴルフ、剣道、柔道、庭いじり (現在最も努力を要しています)
- ⑤仕事のモットー 至誠一貫 (校訓でした…)

⑥最後に一言 23年間一般整形外科医として歩を進めてまいりました。中でも歩行外科・関節機能再建を中心とした仕事をしております。「死ぬまで歩く!」いわゆる健康寿命増進のために尽力できれば幸いです。